

福島市教育委員会定例会会議録	
1 場 所	福島市役所 9階 903会議室
2 日 時	令和6年5月1日 午前9時00分
3 出席者	教育長 佐藤秀美 教育長職務代理者 渡辺慎太郎 委員 篠木雄司 委員 高谷理恵子 委員 立花由里子
4 欠席した委員	
5 説明のため出席した職員	教育部長 三浦裕治 教育部次長兼教育総務課長 長南敏広 学校教育課長 穂積 浩 教育施設管理課長 八島亨主 教育研修課長 佐藤厚生 生涯学習課長 遠藤 彰 中央学習センター館長 加藤享司 図書館長 安藤勝章 教育総務課課長補佐兼庶務係長 森山 淳
6 議事内容及び経過	(1) 開 会 午前9時00分 (2) 日 程 本日1日間 (3) 署名人の決定 委員 渡辺委員 委員 高谷委員 (4) 記録係 教育総務課庶務係主査 藤川哲生

1 教育長報告事項	
会議冒頭、その他 本市におけるいじめ重大事態等の現状については、個人情報等を含むことから関係職員だけで行い非公開とすることについて確認、全員の承認を得る。	
①福島市教育事務評価検証委員の委嘱について	
教育総務課長（教育委員会定例会提出事項 P4により説明）	
②福島市教育委員会研究委託校・園について	
③福島市学校教育指導委員の委嘱について	
④福島市教育委員会中学生ドリムアップ事業推進委員会委員の委嘱について	
⑤子どもの体力アップ支援委員会委員の委嘱について	
⑥学力向上サポート事業学習支援員の委嘱について	
学校教育課長（教育委員会定例会提出事項 P5～P9により一括して説明）	
篠木委員	研究委託校と学校教育指導委員との連携や関連は何かあるのか。
	学校が希望して委託を受ける形なのか。
学校教育課長	研究委託校については、P5に委託の手続きを記載している。校長会等を通して西地区や北地区など地区の方部があり、候補の推薦を受けて学校教育課から教育長に具申して交付する。
篠木委員	学校教育指導委員との連携というか連動というか、指導員がいる学校にお願いするようなイメージなのか。
学校教育課長	特に研究委託校に学校教育指導委員がいるということではない。指導委員については、それぞれの教科で実績を持っている実践力がある者ということで推薦している。

篠木委員	連動していることではない旨承知した。指導委員は市内の模範的な先生のため、研究委託校と連動していくのかと思い質問させてもらった。
学校教育課長	研究委託校で研究するにあたって、指導助言ということで関わっていくことはある。
立花委員	研究委託校について、今年度から新しく入る3つの学校の研究内容についてはこれからということだったと思うが、委託手続きのところに研究内容を伝えた上で候補推薦を求めると記載がある。推薦校を先に決めてということだが、研究内容はその学校と相談していつごろ決まるのか。
学校教育課長	以前は、このような内容で研究してくださいということだった。例えばICT関係で委託をお願いしていたということもあったが、この2・3年はそれぞれの学校の状況等もあるため、子どもたちの現状から各学校で研究内容を決定してもらうようになった。順番は校長会からの推薦の後になるが、これを実施してくださいということではなく、それぞれの学校の状況で実施する。ただ、1つ私たちが考えているところは、授業の改善だけは外せないということで研究内容を決定してもらっている。今年度に始まった3校については、第1回目の全職員による全体会を開いて、今後詳しい研究内容を決定していく。
立花委員	学力向上サポート事業学習支援員について、今回は全員が退職校長先生だが、対象に教員志望大学生が入っている。過去には大学生が学力向上サポート事業学習支援員になったという事例はある

	のか。
学校教育課長	そのような方も受け入れるということにはなっているが、やはり退職した学校の校長を含めて教員が主になっており、大学生等を採用したということはない。
立花委員	やはりベテランの方が揃うということか。
学校教育課長	ベテランの方が揃えばいいのかというところはあるが、学習支援員を探してやっていただくというのは難しい状況である。どうしても退職した先生方に声かけしお願いするところがある。
	⑦全国学力・学習状況調査の実施について
	⑧ふくしま学力調査の実施について
学校教育課長	(教育委員会定例会提出事項 P10～P11により一括して説明)
渡辺委員	全国学力・学習状況調査は、毎年努力目標の評価に指標で使っているものもあるため、ぜひまた報告いただきたい。
	1つ質問だが、学校質問調査は主にどのような内容の質問がきているのか。これまで意識して見ていたことがなかったので、概要を教えてほしい。
教育長	学校質問調査は、まず学校の児童生徒の数や規模のようなものを聞く。それから、全国学力・学習調査の結果を受けて、教員がそれを基に分析して研修等を行っているか。子どもたちは落ち着いて学習しているか、いわゆる規律を守れているか、教員から見た子供たちの様子であったり、学校の規模のことであったり、学校の取り組みであったり、就学援助を受けている家庭が何%ぐらい

	かなど、細かく聞く内容になっている。その結果と学力等との相関を文部科学省で分析をしている。様々なものがそこで見えてくることもあるため、かなりの数の質問項目になっている。
立花委員	そうすると、学校質問調査は代表の方が1人回答するということか。
教育長	管理職を中心に回答する。ただし、例えば学力のことであれば研修主任と相談してたり、生徒指導に関することは生徒指導主事と確認をしたりして回答するなど、より正確な回答に心がけている。
	⑨福島市教育支援委員会委員の委嘱について
	⑩福島市教育支援委員会診断部員の委嘱について
	⑪福島市特別支援教育推進協議会委員の委嘱について
	⑫福島市総合教育センター運営委員会委員の委嘱について
	⑬福島市総合教育センター調査研究協力員の任命について
	⑭福島市公立学校 ICT 化推進委員の委嘱について
	教育研修課長（教育委員会定例会提出事項 P12～P17により一括して説明）
篠木委員	Chromebookへの移行という話が出た中で、現状はiPadを使用しているのを、Chromebookに移行するというイメージなのか。
教育研修課長	移行を考えているのは教職員の分である。教職員は現在、Windows端末を使用しているが、その賃貸借期間が今年と来年で切れる。まず1年目の賃貸借期限が切れるタブレットが約300台あり、それについてChromebookに切り替える。次年

	度に残りのWindows端末をChromebookに切り替えるという形で考えている。生徒のiPadについては、今後検討していく。
篠木委員	ちなみに生徒全員はiPadを使用しているが、先生はiPadを使用しているのか。
教育研修課長	先生はiPadを使っではないが、余分なものがあった場合に、iPadを使用するという場合はある。
高谷委員	もう少し、WindowsタブレットとChromebookがどのように違うのか伺いたい。
教育研修課長	Windowsタブレットは、データを保存するのもアプリを開くのもすべて機械の中で完結する。Chromebookはクラウドからすべてデータを持ってくるため、別な端末からもクラウドから引っ張れるため、利便性が上がることは1つ言えるかと思う。また、セキュリティがかなり高くなり、今のところGoogleのChromebookでの、システム障害やウイルス感染はまだ1件も報告されていないということのため、個人情報という非常にナイーブな情報を扱っているものの流出等もかなり守られる。後は何といても、様々なソフトが入ってないため値段が安い。
高谷委員	セキュリティがしっかりしているのは心強いが、そのようなタイプは自宅に持ち帰って使えない場合があるがどうか。
教育研修課長	端末等については、自宅に持ち帰らないというのが原則である。
渡辺委員	同じ話ではあるが、クラウド上にデータを置きやすくなれば、教

育委員会でのタブレットを通じての同じ情報にアクセスできるし、
誰かが書き換えると他の人が反映されるというところが、よりリアルタイムにできるため非常にメリットだと思うので、ぜひその
良さを活かした形を研究していただきたい。
教育研修課長 学校 I C T 推進係には、そのような形で検討するように指示をしている。
3 その他
・今後の日程について
教育総務課長 (教育委員会定例会提出事項 P 1 8 により説明)
①次回の定例会の開催について
令和 6 年 5 月 2 9 日 (水) 午前 9 時 0 0 分から市役所 9 階 9 0 3 会議室
終了後に協議会を開催。
②今後の主な行事予定について
教育長・教育委員の出席が予定されている事業を周知。
③今後の教育委員会の開催について
7 月定例会は 7 月 3 日 (水) 午後 1 時 1 5 分から市役所 9 階 9 0 3 会議室で開催予定。
午前 9 時 3 1 分休議。
午前 1 0 時 1 8 分再開。以下、非公開。

